

多様なメディアを活用したオンライン授業について

2022 年 2 月

本学大学院理工学研究科では、2022 年度は「面接授業」を基本とする方針を定めております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染状況によっては、授業の実施方法が対面(面接授業)ではなくオンラインとなる場合や、対面とオンラインの併用となる場合があります。なお、授業の実施方法につきましては、授業(担当教員)ごとに異なります。

◆本学におけるオンライン授業には、大きく分けて下記の 4 種類があります。

- ①双方向型授業……教員と学生がインターネットを介して繋がった状態で、リアルタイムに音声や動画で行う授業
- ②動画配信型授業……授業を録画したビデオを視聴して、別の手段(メールや掲示板等)で質問や議論を行う授業
- ③資料配信型授業……ナレーション付きの講義資料(パワーポイント等)を視聴して、別の手段(メールや掲示板等)で質問や議論を行う授業
- ④自習中心型授業……教科書による自習、演習などを中心として、別の手段(メールや掲示板等)で質問や議論を行う授業

◆本学のオンライン授業では主に次のシステムを利用しています。

○授業支援システム「manaba」

「manaba(マナバ)」は、本学で導入しているクラウド型の授業支援システムです。

manaba では、講義資料の閲覧や小テストへの解答、レポートの提出などを行うことができます。また、授業に関する詳しい情報も manaba を通じてお知らせします。

○オンライン会議システム「Webex」

「Webex(ウェブエックス)」は、Cisco 社が提供するオンライン会議システムです。

オンライン授業では、この「Webex」を用いて授業を行う場合があります。

Webex を利用することで、教員と学生がディスカッションや質疑応答など、リアルタイムでのコミュニケーションをとりながら授業を進めることができます。

基本的には、担当教員から通知されるアクセス用 URL に Web ブラウザ(Chrome 推奨)でアクセスすることで授業(オンライン会議)に参加できます。アクセス用 URL は上記の manaba に掲載されます。

科目等履修生・聴講生への応募にあたっては、これらの授業実施方法がとられる可能性を踏まえ、応募してください。

以上